

## 『地域の歴史を知ろう』

コミュニティセンター湘南の自主講座「地域の歴史を知ろう」で9月から始まった「柳島の歴史と民俗資料館『旧藤間家住宅』」(共催=柳島いま・むかし会)。7回シリーズの前半を終えて残るは3回、令和2年3月の最終回は藤間家住宅主屋の見学会を行う。

発見!



## 「柳島の遺産、徹底研究

「子どもの頃は敷居が高かったが、いろいろ聞いて調べてみると藤間家住宅は柳島の文化財産。もっと多くの人に知ってもらいたい」と柳島いま・むかし会の青木昭三会長。同会は普段から屋敷の手入れなどで保存に尽力している。12月までに行った4回の講座では富永富士雄、藤城憲児、岸一弘氏の3講師が柳島の歴史、旧藤間家住宅の全容、文人名主と呼ばれた13代目・柳庵の事績と人物、住宅と周辺の動植物について語った。



④柳島いま・むかし会メンバーが講座受付も⑤藤城講師の熱弁に聞き入る参加者

江戸時代の名主でもあった藤間家は、農業と回船業で栄えた。旧藤間家住宅は平成27年に国登録有形文化財となり、29年に歴史・美術資料、家具・民具などととも茅ヶ崎市に寄贈された。

懐かしの茅ヶ崎  
旧藤間家住宅

**旧藤間家住宅** 昭和7年建築の木造平屋で建物面積151平方メートル。設計は大正から昭和にかけ日本住宅の洋風化に取り組んだ西村伊作氏で、和洋の意匠を対比的に採用した近代住宅。敷地内にはタブノキ、ニッケイの巨木、四季折々の花を咲かせる樹木のほか、温泉事業へ発展したといわれる掘抜井戸もある。一般公開(無料)は毎週金、土曜日の9時～16時。年末年始は休館。茅ヶ崎市柳島2-6-30。バス停「柳島」から徒歩5分。

これらが歴史的背景の解明にもつながるという各講師の話に毎回、参加者は耳を傾けスライドを見ながら熱心にメモをとっていた。

## ラスト講座は現地見学

後半のスケジュールは別表の3回。締めくくりは3月5日の現地見学だ。約3900平方メートルの敷地内の紅梅が咲き始めるころで、藤間家住宅は緑色の屋根の建物。民俗資料館として保存されている家具や調度品に高齢者は「あっこれ、わが家にもあった」と思い出すかもしれない。歌川豊國の浮世絵(複製)を見ることもできる。当日のガイド役の1人で、茅ヶ崎市社会教育嘱託員でもある富永さんは「ここには懐かしい茅ヶ崎があります。それも魅力なんです」。コミセン湘南で講座を聞き、藤間家住宅見学で湘南地区の歴史を感じるまたとない機会かもしれない。



主屋には民俗・歴史資料がいっぱい

★トピックスは裏面

柳島の歴史と民俗資料館「旧藤間家住宅」をもっと知る講座

	開催日	講師	内容
第5回	1/9(木)	平野 文明	文化財(陶磁器を中心にして)
第6回	2/6(木)	柳島いま・むかし会	地域に伝わる柳島
第7回	3/5(木)	富永・岸・白澤	見学会(主屋・自然・民具)

コミセン湘南2F大会議室にて10:00～12:00、定員80名(先着順)無料  
※第7回は旧藤間家住宅に集合(10:00)、現地解散。問合せTEL0467-57-5655





# トピックス

「湘南地区まちぢから協議会」ホームページ  
<http://shonanmachi.sakura.ne.jp/index.html>  
に「コミセン湘南」のコーナーがあります

## コミセンまつりに サンタがやってきた

【11月9日 子どもコミセンまつり】昨  
年までの「withハロウィン」から「withクリスマス」に。湘南地区の施設でハロウィンイベントが盛んになったため、競合を避けるため時期を少し遅らせての開催。恒例となった中



島中学校吹奏楽部のオープニング演奏で始まり、クリスマスツリーが飾られクリスマスソングが流れる中、150人を超える子どもたちがそれぞれの会場で楽しく過ごした。1階ではバルーンアート、お茶席、初登場のかるたとり。2階には似顔絵・プラバン作り、科学教室、折り紙教室、コマ絵付け、屋外では囲碁将棋、シャボン玉・ボールけりが行われた。コミセン名物となったお昼の「カレー大会」を挟み、午後の部では映画「ナイトメア・ビフォア・クリスマス」鑑賞と、クリスマス写真撮影でハイ、ポーズ！

令和2年の子どもコミセンまつりは節目の第20回。少子化の中、少しでも多くの子どもたちが足を運び喜んでくれるような企画を、と考えている。



## 料理講習会の調味料は「ワイワイガヤガヤ」

【9月12日 料理講習会】猛暑続きに追い打ちをかけた台風15号による残暑の直後、講師・奥田啓夫さんが考案した「夏バテ回復」メニューは6品。参加者が特に注目したのは「鶏レバーうまみそ煮」と「秋鮭中華風」だった。市内松ヶ丘から40分かけ自転車でやってきた男性は奥田さんのボランティア活動仲間。「料理（の味付け）に足し算はできても引き算はできない」など一家言の持ち主だが、料理講習会の魅力はズバリ「みんなでワイワイガヤガヤ、一緒に作って食べる。これが一番」なんだそうだ。



## 「出前講座」で国宝源氏絵巻の魅力堪能

【10月1、8、17、24日 絵巻で解説・源氏物語】コミセン湘南で4週連続、南湖公民館主催の文学講座。世界最古の長編小説「源氏物語」が成立して約150年後、平安朝末期に描かれた「国宝源氏物語絵巻」を講師・藤野敬子さんがスライドを使い原画と復元模写の比較、絵の構図から登場人物の心情を読み取る方法などを解説。毎回50人の参加者の3分の1は湘南地区から。中島在住の女性は「以前から興味のある講座には南湖公民館へ出掛けていた。より近い所で聴けるのはうれしい」と出前講座を歓迎。



## 湘南地区2019流行語大賞は『カピバラ』？

【7月～10月 カピバラ・フィーバー】オレ見た、わたしも！ わくわく公園横を流れる小出川周辺でのカピバラ目撃情報が相次いだのは7月中旬。南米産の「大型ネズミの仲間、がなぜここに。誰かが飼うのに困って捨てた？ 休日には珍客を一目見ようとコミセン湘南を出てすぐ右側の宮ノ下橋の上に人が集まり、テレビカメラのクルーもやってきた。新聞によると元の飼い主が現れ、保健所に捕獲を要請したが失敗したとか。10月12日の台風19号は無事乗り切ったのか、その後も小出川河口付近で目撃されている。



【あしがき】今年の子どものまつりは「withクリスマス」。日本一早い(?)クリスマスに備えコミセン湘南では女性事務員中心に1カ月前から準備に入りました。その中で創意工夫を凝らしたのは「わくわくらんどパネル」公開に合わせたクスダマ作り。「百均」でザル購入(2個200円)から始まり試行錯誤の末の手作り。開会式でのパネル除幕式で金色に輝くクスダマが見事割れると会場に大きな拍手、そして彼女たちには安どの笑顔が。